

平成29年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	126	学校名	仙台市立泉松陵小学校	校長名	多賀野 修久
------	-----	-----	------------	-----	--------

1 テーマ

5年 総合「けやき山活動」(森林の果たす役割の理解と森林保護活動)

2 取組の実際

仙台市立泉松陵小学校は、仙台市の北東部に位置する松陵団地の中にあります。学区の東部は県民の森、北部は富谷市の丘陵地帯に接していて、森に囲まれた静かな環境です。

校内には「けやき山」という山があり、夏は虫取り、冬はそり遊びなどの場となり、子供たちにとってよい遊び場となっています。

そんなけやき山は、毎年5年生が総合的な学習の時間を通して整備しています。今年度も5年生は4月当初から「どんなけやき山にしていきたいか」「そのためには、何が必要か」について話し合いを行い、活動してきました。

話し合いでは「低学年も安全に遊べる山にしたい」「もっと親しめる山にしていきたい」などの意見が出され、早速活動に入りました。

活動にはゲストティーチャーとして「森林インストラクター協会」の皆さんを招き、歩道や遊具の設置や整備を行いました。また、森林にあるものを使っておもちゃを作ったり、昆虫の育成棚を作ったりして、より親しめる環境づくりについての活動も行いました。普段の学習では使わないのこぎりや小刀、掛矢などの道具も使い方を教わりながら扱い、安全でより楽しめるけやき山のために活動しました。

森林についての学習活動は、けやき山だけではなく、野外活動で活動する泉ヶ岳や、県民の森でも行い、規模や生態系の異なる自然環境でも行い、水を溜めるなどの森林の果たす役割や、森林保護のための植樹活動などについても学習・実践しました。



3 取組の成果

けやき山での実践を通して、全校の児童が安心して楽しめる森林環境を作り上げることができました。学習する前よりも、けやき山がより身近に感じられるようになったとともに、大切に守っていかうという思いが強くなりました。

活動を続ける中で、「森林は整備しなければすぐに荒れてしまうこと」「だからといって、人間の都合で整備しすぎると、生態系を壊してしまうこと」「森林の伐採により地球温暖化が進んでいること」などの課題について気づくことができました。

今後、これらの課題について、5年生としてどんなことができるのか、後輩たちにはどんなことを続けていってほしいのかについて考え、実行していく予定です。